

科学哲学

ISSN 0289-3428

日本科学哲学会

52-1

存在的構造実在論の概念的基礎と経験的根拠 …北村直彰・森田紘平	1
主張内容を合成的に導く —一般合成性に基づく単純な意味論観の擁護—	高谷遼平 23
意図の無限後退問題とは何だったのか	三木那由他 47
「遺伝情報」はメタファーか	石田知子 67
二重否定文の発話の付加的役割について	四津雅英 93

若手研究助成成果報告書

人工物としての行為—新しい実践的知識論—	鴻 浩介 113
種名の指示の理論に基づく形而上学的方法論の評価 —芸術作品の存在論を手がかりに—	木下頌子 127

書評論文

物理主義者であるとはどのようなことか —鈴木貴之『ぼくらが原子の集まりなら、なぜ痛みや悲しみを感じるのだろうか』 を評して—	太田紘史 143
--	----------

書評	163
源河亨著『知覚と判断の境界線:「知覚の哲学」基本と応用』(宮園健吾)	

第51回大会 (2018年) 記録	167
シンポジウム・ワークショップ報告	171
